

次世代エネルギー

水素精製・アンモニア濃縮技術

10年後、20年後の近未来を見据え、当社は様々な研究・実証実験に取り組んでおります。

今後、特に次世代エネルギーが主流になることを想定し、どのような課題解決ができるのか、また新たな仕組みの開発は可能なのか、日夜挑戦を繰り返します。

次世代エネルギーへの取り組み

我々は常に新たなチャレンジを続けます

01 GASTAKによる 精製水素ガス中のトルエン回収技術

課題 MCHから精製した水素にはトルエンが混合しているため、純度が低くなっています。トルエンを除去し、水素の純度を上げることが課題となっています。

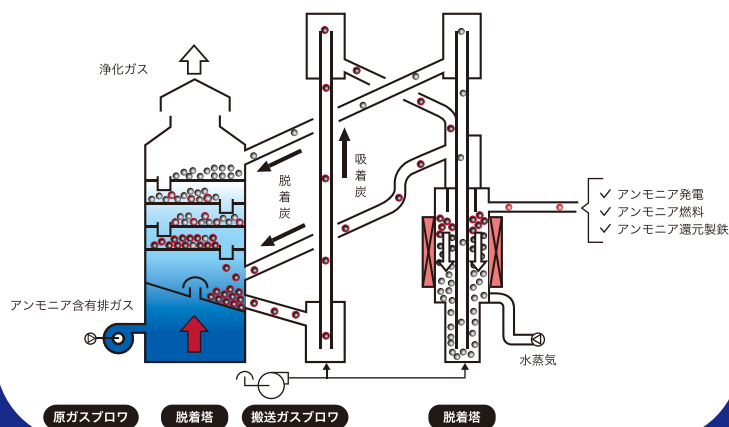
研究成果 ラボ実証機による水素中トルエン吸着テストでは、リン酸添着BAC使用+低温(5℃)+低ガス流量で吸着効果が向上。水素中でも空気中と同等なトルエン吸着が可能です。トルエン濃度 5,000 ppm → 0.21 ppm



02 GASTAKによる アンモニア排ガス濃縮技術

課題 アンモニアを利用した設備では各所からリークするアンモニア排ガスの処理が課題となっています。

取り組み事例 リークしたアンモニア排ガスを吸脱着することで、数千倍に濃縮することができます。その濃縮したアンモニアガスは、様々な設備で再利用が可能です。



私たちは化学と技術の力で **VOC処理のスペシャリスト** 循環型社会に貢献する